

小学校出前教室

(出前教室の始まりと推移)

インプリ科発足の1年前、門真市立五月田小学校で校庭観察会が行われました。担当はインプリ科設立に参画した久富氏でした。

また、教員対象の遠足下見ガイドツアーもインプリ科設立1年前から始まりました。インプリ科設立に参画した長井氏、松原氏や他のインプリ科メンバーも多数参加しました。

下見ガイドツアーは教員向けですが、小学生対象の遠足ガイドも始まりました。熊取西小学校(奥山山公園)、河内長野市立千代田小学校(錦織公園)が平成8年度に行われています。

こうした中で最初のインプリ科独自で行った小学校出前教室は、平成10年度実施した茨木小学校でした。

当時茨木市では市制50周年事業の一環として様々な環境保全に係る行事が行われました。この推進に当たったのが、茨木バラとカシの会で事務局を務める石田泰造氏(インプリ科)でした。その中に茨木小学校の自然観察会、工作がありインプリ科が受注しました。

その後、下見ガイドツアーで関係ができた狭山南第三小学校をはじめ大阪狭山市の各小学校が参加し、現在まで続いています。同時に玉出小学校をはじめ大阪市の小学校が参加し、こちらも現在に至っています。

平成14年度には大阪府環境学習人材支援事業の適用を受け、東大阪市立森河内小学校、八尾市立東山本小学校で出前教室を実施しました。

この後も毎年適用を受け、

H15 箕面市立箕面小学校

H16 豊能町立東能勢小学校、門真市立速水小学校、

四条畷市立四条畷小学校、

東大阪市立大蓮東小学校

H17 八尾市立曙川小学校、東大阪市立縄手小学校、

大阪狭山市教育研究会(於 第七小学校)

H18 堺市立御池台小学校、

大阪狭山市教育研究会(於 西小学校)

H19 大阪狭山市立東小学校と続きました。

また、環境再生保全機構助成事業の適用を受け、H16 大阪市立聖賢小学校、吹田市立高野台小学校、大阪狭山市立南第三小学校で出前教室を実施しました。

このような助成事業は長井代表理事が積極的に大阪府に出向き実現できたものでした。

この結果、順調に学校数が増えて、平成16年度にはピークの22校になりました。

(セミの抜け殻調査)

平成16年度にはセミの抜け殻調査が始まりました。当初は大阪府の調査に協力の形だったので4校で実施しました。その後も調査は継続しましたが、令和元(2019)年度をもって、セミの抜け殻調査は終了しました。

<セミの抜け殻調査の風景>



(小学校自然ふれあい教室)

1年間の取組を経て平成30(2018)年、シニア自然大学校は地域貢献部門に新たに「小学校自然ふれあい教室」を創設しました。

当事業推進のため平成30(2018)年度予算に計上するとともに、「こども自然ふれあい教室」基金(目標、初年度100万円)の創設が決まりました。

自然ふれあい教室は、当初の準備リーダーをインプリ科の濱崎功氏が務め、実施は、研究科のインプリ科、自然と文化科、総合科そら組、森と海の自然科、植物科、自然と環境科が行うことになりました。

自然ふれあい教室が動き出してからは準備リーダーであった濱崎氏が自然教室連絡幹事を引受け、全体のまとめ役を行いました。今まで、インプリ科で独自に実施していた出前教室は、自然ふれあい教室に切り替わりました。令和 2 (2020) 年からは自然教室連絡幹事をインプリ科の奈倉久美子氏が役を引き継いでいます。

平成 30 (2018) 年度の状況 (他科の執行が含まれます)

大阪市立小学校 9 校、大阪狭山市立小学校 3 校、東大阪市立小学校 6 校 (うち 5 校は東大阪市山地保全協議会主催)、その他 4 校、合わせて 22 校、1,886 名の児童に対し行いました。

なおこの数値には他科の分が含まれますので、インプリ科だけでは 17 校、1365 名になります。詳細は資料編に掲載。

<自然ふれあい教室 枚岡公園にて>



令和元 (2019) 年度の状況 (他科の執行が含まれます)

大阪市立小学校 10 校、大阪狭山市立小学校 3 校、東大阪市立小学校 1 校、その他 3 校、合わせて 17 校 (対前年 5 校の減)、1,296 名 (対前年 590 名の減) の児童に対し行いました。

減少の理由は東大阪市で、小学校 6 校から 1 校への減が響きました。東大阪市山地保全協議会主催の事業が都合で終了したのが原因です。

枚岡公園から額田までのコースには、校庭では見られない植物が多くあり、私たちも楽しみにしていましたので、終了したことを残念に思います。

なおこの数値には他科の分が含まれますので、インプリ科だけでは 12 校、859 名になります。詳細は資料編に掲載。

(新型コロナによる中止)

自然ふれあい教室 3 年目の令和 2 (2020) 年度は、新型コロナウイルス感染拡大により、緊急事態宣言が出され、学校も 6 月末まで休校措置が取られました。その後宣言は解除となりましたが、私達が高齢者であることのリスクも考慮して自然ふれあい教室は中止と決まりました。

(3 年後の見直し)

自然ふれあい教室は 3 年が経過しました。見直しの結果、令和 3 (2021) 年度は継続が決められました。